

| | |
|-------------------|---|
| | 山口大学 農学分野 |
| 学部等の教育研究 組織の名称 | 農学部（第1年次:100） 共同獣医学部（第1年次:30） 大学院農学研究科（M:34） 大学院医学系研究科（M:79 D:61） 大学院連合獣医学研究科（D:12） |
| 沿 革 | 明治16（1883）年 山口栽培試験場農事講習会開設 明治17（1884）年 山口栽培試験場獣医講習会開設 明治18（1885）年 山口県山口農学校開校 明治28（1895）年 山口県農学校に改称 明治32（1899）年 山口県農業学校に改称 明治34（1901）年 山口県立農業学校に改称 大正13（1924）年 山口県立小郡農業学校に改称 昭和19（1944）年 山口高等獣医学校設置 昭和20（1945）年 山口獣医畜産専門学校に改称 昭和24（1949）年 新制山口大学農学部設置 昭和44（1969）年 大学院農学研究科修士課程設置 平成2（1990）年 大学院連合獣医学研究科設置 平成18（2006）年 大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻設置 平成24（2012）年 鹿児島大学と共同獣医学部を設置 |
| 設置目的等 | <p>明治16年，県下の農業の改良，進歩を担う者の養成を目的として，山口県栽培試験場内に農事講習会が開設され，その翌年に，県下各地で流行した獣疫に対応する獣医師を養成するため，同試験場内に獣医講習会が開設された。</p> <p>明治18年，「農学校通則」の制定及び「獣医師免許制度」の公布に伴い，両講習会は廃止され，山口県山口農学校が設置された。その後，山口獣医畜産専門学校に至るまで，校名の改称を重ね，山口県の農業教育に大きな功績を残しながら拡充・発展をし，昭和24年に農学部として新制山口大学の一翼を担うこととなった。</p> <p>昭和44年，学部における一般的ならびに専門的教養の基礎の上に広い視野に立って，精深な学識を修め，専門分野における理論と応用能力を有する研究者と技術者の養成を目的として，農学研究科（修士課程）が設置された。</p> <p>平成2年，山口大学，鳥取大学，鹿児島大学，宮崎大学の各農学部</p> |

| | |
|---------------------|---|
| | <p>獣医学科が連合し、広範多岐にわたる地域的課題の解決を図ると同時に高度の開発能力を要する研究者を養成し、地域の発展に寄与することを目的として、連合獣医学研究科（博士課程）が設置された。（平成22年に宮崎大学が離脱。）</p> <p>平成18年、医学・工学・理学・農学の連携のもと、医療・健康に利用できる有用分子の研究開発や臨床応用に貢献する創造的で幅広い視野を持った人材を育成することを目的として、医学系研究科応用分子生命科学系専攻が設置された。</p> <p>平成24年、山口大学と鹿児島大学の農学部獣医学科が共同し、それぞれ農学部から独立して国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成することを目的として、共同獣医学部が設置された。</p> |
| <p>強みや特色、社会的な役割</p> | <p>山口大学においては、安全な食料の効率的生産、生態環境の保全、生物資源の機能開発など、人類の生存・生活を支える農学分野の教育研究を行うとともに、専門職業人としての獣医師を養成することで、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「発見し、はぐくみ、かたちにする 知の広場」の創造という理念のもと、食料、環境、資源などに関するグローバルな諸問題に対応できる幅広い教養や倫理観を授けるとともに、修士課程及び博士前期課程においては、高度な専門知識及び技術を備え、問題解決やイノベーションに貢献できる高度専門職業人を育成する役割を果たし、博士課程及び博士後期課程においては、先端的技術と研究能力を有する先導的かつ指導的な人材育成の役割を果たす。 ○ 留学生特別プログラム（英語コース）やASEAN 諸国との留学生交流事業実績、国立4大学連携による日本の北と南の地域特性のある教育プログラムの相互活用や国際認証に向けた連携・協力体制の構築、複数の構成大学教員による研究指導、国際交流及び国際学会研究プログラムなど特色ある教育を進めてきた実績を生かし、グローバルに活躍できる人材を育成する学部・大学院の教育を目指して不断の改善・充実を図る。また、発展途上国からの留学希望者を積極的に受け入れてきた実績を生かし、今後さらに国際社会、とりわけアジア地域の発展に寄与していく。 ○ 長年のASEAN 諸国との国際拠点事業等を筆頭に「中高温機能性」微生物開発研究や「人工光型植物工場」による作物生産新技術開発研究の実績及び新興ウイルス感染症の制御など人獣共通感染症学 |

| | |
|--|--|
| | <p>をはじめとする特色ある研究やトランスレーショナルリサーチにおける質の高い研究実績を生かし、農学諸分野の研究を推進することで、我が国の農学分野の発展に寄与する。</p> <p>○ 山口県など地方自治体の各種委員会への参画や関係機関との連携による調査・研究、人材育成など、地域社会に貢献してきた実績を生かし、山口県をはじめとする周辺地域の農林業、畜産業、食品産業等の振興と発展に中核機関として寄与する。また、獣医療において中国・九州地域における二次診療施設として、中核的役割を果たしている実績を生かし、高度獣医療の提供に寄与していく。</p> <p>○ 大学院への社会人技術者の受け入れ、研修獣医師の受け入れ、臨床例総合検討会の一般公開などの実績を生かし、社会人学び直しを推進し、農業、食品産業、獣医療、畜産業などの発展に資する。</p> |
|--|--|